

平成27年度 上市高等学校アクションプラン 年度末評価 - 2 -

① 重点項目	生活指導	
② 重点課題	基本的な生活習慣の確立。規範意識、はじめ意識の育成を図る。	
③ 現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「遅刻をしない」「身なりを正す」「マナーに気をつけ、みんなで元気にあいさつ」を指導の重点として規律と秩序ある校風作りを進めている。</li> <li>・平成26年度の生徒1人あたりの遅刻平均回数は2.2回であり、ここ3年間は横ばいの傾向にある（生徒1人あたりの遅刻平均回数 H25年度2.4回 H24年度2.5回）。</li> <li>・携帯電話・スマートフォンの使用違反回数は、年間延べ数で H26年度240人、H25年度224人、H24年度227人であり、校内での使用についてルーズな状況にある。授業中に使用している生徒も見られ、学習に集中できない生徒もいる。ネットパトロールからの不適切な書き込みの報告も多く、指導の徹底が必要である。</li> </ul>	
④ 達成目標	① 1人あたりの年間遅刻回数の減少	② 携帯電話・スマートフォンの使用ルール違反者の減少、みだしなみの向上
	前年比20%の減少	前年比20%の減少
⑤ 方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻の多い生徒に対し、担任、学年、指導部が連携して問題状況の把握と問題解決に努める。また、累積回数により特別指導を実施する。</li> <li>・進路指導と絡めて、社会人としての在り方を考えることにより、生徒自身の自覚を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教職員の共通理解を図りながら、統一した指導を行う。</li> <li>・違反した生徒はその都度家庭に連絡し、学校の指導方針を理解してもらい協力を得る。また、違反累積回数により特別指導を実施する。</li> <li>・ネットトラブルに関する最新の情報を生徒、保護者に提供し、ネット使用に関する意識の向上を図る。</li> </ul>
⑥ 達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度の遅刻総数は12/7現在で778回、生徒1人あたりの平均回数は1.6回と減少はしているが、横ばい状態である。1年生は大きく減少しており、全体として回数の減少になったものと考えられる。しかし、2、3年生については共に変化なく、根本的な問題解決には至っていない。</li> <li>・平成27年度2学期末までの段階で、携帯電話・スマートフォンの使用違反人数は112件で昨年の半数となっているものの、違反を見逃さないという姿勢を継続していきたい。</li> </ul>	
⑦ 具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝、玄関前指導として、挨拶の声かけや服装指導を行っている。遅刻に関しては、すべり込み遅刻がある程度防ぐことができている。</li> <li>・各学年の進路ガイダンスに外部講師を招聘し、社会人としてのあるべき姿や、高校時代に身につけなければならないこと等の講話をお願いし、社会の一員としての自己の在り方を考えさせる機会を設けている。</li> <li>・遅刻を繰り返す生徒には、担任や学年が中心となり指導にあたった。連絡もなく定刻に学校に登校していない生徒には、保護者に連絡をして、所在の確認を行っている。特に、学期に8回以上遅刻を繰り返す生徒に対しては、保護者を交えて、基本的な生活習慣の見直しを考えさせた。</li> <li>・交通安全教室、たばこ・薬物の害、性教育、着こなし教室、携帯・スマートフォン安全教室などの講話を通して、規範意識を高めるように指導した。特に携帯・スマートフォン安全教室については、本校の生徒の実態に即した講話を計画した。また、個々のネットトラブル（ネットパトロール）については、生徒と面談をして対応している。</li> </ul>	
⑧ 評 価	C	C
⑨ 学校評議員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻の総数や携帯・スマホの使用違反回数は、横ばいであるが、1年生だけをみると減少しておりよい傾向が見られる。</li> <li>・スマホに依存する高校生が増えてきているのではないかと。学校だけの指導ではなく、家庭にも協力を呼びかけてはどうか。</li> <li>・1つのことをしっかり教えることで、規範意識が全体的に向上することがある。よい生活習慣が身につくようにねばり強く取り組んでほしい。</li> </ul>	
⑩ 次年度以降に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の社会生活を見据えて、基本的な生活習慣の確立やルール・マナーを守る姿勢、我慢と思いやりの心を育てる指導。</li> <li>・遅刻常習などの原因を解明し、保護者の理解と協力を得て根本的な問題解決を図る指導。</li> <li>・職員も含めた、「はじめ」についての認識の向上。</li> </ul>	

(評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状のまま D：後退した)